

News Release

アクセンチュアが世界初、第三世代携帯電話対応 BtoE*ポータル、「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」を開発

「アクセンチュア BtoE ポータルソリューション」を協力会社と共に提供

*1：BtoE: Business to Employees, 企業の Internet を介した従業員向け情報サービス

先進的な経営コンサルティングとテクノロジー・ソリューションを提供するグローバル企業、アクセンチュア株式会社（東京都港区赤坂、代表取締役社長:森 正勝、以下アクセンチュア）は本日、世界初の第三世代携帯電話対応 BtoE ポータル、「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」を開発、FOMA（株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモによる第三世代携帯電話サービス）の販売・実用化に伴い、今後国内企業へ提供していくことを発表いたしました。

この「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」は、モバイルメディアに関する SI ビジネスパートナーを支援している株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（本社:東京都千代田区、代表取締役社長：立川 敬二）の協力の下に開発されたもので、アクセンチュアでは、このポータルソリューションの導入、構築、運用、及びサービス導入に伴う業務改革コンサルティングもあわせて提供します。

「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」は、各企業の社員向けモバイル・ソリューション導入のニーズを受け、アクセンチュア自社内で研究・開発された、社員の生産性を最大化する業務革新ソリューションです。主に社外で顧客企業に対するコンサルティング活動を行うアクセンチュアのコンサルタントは、このソリューションを用い、携帯画面上で社員の連絡先や顔写真など社員情報の入手、ロータスノーツのメール確認、社内会議室の予約、勤務時間表への入力などが出来る他、第三世代携帯電話の特徴を生かした、動画による経営陣の社員向けメッセージを見ることなどが可能です。

「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」はまた、企業向けポータルとして必要な、1)ERP、社内独自システム、外部リソース（ニュース検索サービス等）を、1回のサインオンで全て利用可能にするシングル・サインオン機能、2)携帯、PDA、デスクトップ、ノートブック等、様々な端末からのデータアクセスを可能とするマルチデバイス対応機能、3)インターネット Web サイトの myPAGE のように、個人の利用頻度、嗜好、状態に合わせたページのカスタマイズが可能となるパーソナライズド・インターフェイス機能をも備えています。さらに、一部サービスプロバイダとの連携

を今後実現し、企業での総務・管理業務支援サービス提供、福利厚生サービス提供、更に将来的には社員の企業契約業者との個人的・私的サービス利用までを同一のポータル上から可能にすることも想定しております。

「アクセントチャ BtoE モバイルポータル」は、同じく自社開発した Web システム基盤ソリューション、「アクセントチャ・コンポーネントベース・アーキテクチャ」を採用することにより、e ビジネスのインフラに求められる要件、即ち 1)柔軟性・拡張性の確保、2)堅牢性の確保、3)開発スピードの向上を実現しています。この為企業は現行システム、もしくは ERP パッケージシステム等との連携においても、アプリケーションの開発・保守コストの削減、及び短期間での開発、導入が可能となります。

アクセントチャでは既に、i モードユーザ約 70 名による社内 pilot test を終了しており、本年 10 月 1 日より、FOMA ユーザ 30 名を加えた「アクセントチャ BtoE モバイルポータル」の活用を本格化しています。今後は、音声対応、Web サービス対応、バーコード・RFID 対応*2 などの機能拡張を順次行い、今年度中（2002 年 8 月末迄）に FOMA100 ユーザ、1 年以内に FOMA 以外のユーザも含め、全社員への展開を予定しています。

*2 RFID 対応：バーコードや RFID（非接触 IC チップ）の利用により、入力負荷の軽減や、認証等を行う。（ex. 携帯ストラップに IC チップをつけ、入館証のかわりにするなど。）

また、この社内導入実績を基に、本日から、モバイル端末から企業のデスクトップ PC までをシームレスに連携する汎用化ソリューション、「アクセントチャ BtoE ポータルソリューション」として、顧客企業へのサービス提供を開始いたします。「アクセントチャ BtoE ポータルソリューション」では、アクセントチャのパートナー企業でもある各サービスプロバイダ、及び各開発協力パートナーとの連携により、より幅広いソリューションを提供することが可能になります。現時点で開発、サービス提供の協力を得ている企業は下記の通りです。

<サービス提供パートナー兼開発協力パートナー>

1)ヤフー株式会社（本社:東京都港区，代表取締役社長:井上 雅博）：

Yahoo! JAPAN とは、「アクセントチャ BtoE モバイルポータル」補完関係にある企業向けポータル構築支援サービスである「コーポレート Yahoo!」のシステム構築および販売において協力を行っていきます。

<サービス提供パートナー>[50 音順]

1)株式会社カウネット（本社:東京都港区，代表取締役社長:関口 要蔵）：

「アクセントチャ BtoE モバイルポータル」上での企業向けオフィス用品の通販サービスを、同社と共同で提供していきます。

2)株式会社 JTB ビジネストラベルソリューションズ（本社:東京都江東区，代表取締役社長:真次 敏夫）：

「アクセントチャ BtoE モバイルポータル」上で企業向けトラベル・サービスを同社と共同で提供していきます。

<開発協力パートナー>[50 音順]

1)ウェブメソッド株式会社（本社:東京都新宿区，代表取締役社長:小泉 明正）：

同社の「webMethods Integration Solution Suite」により、バックエンドにおける ERP，CRM，SCM 等の既存社内アプリケ

ーションの統合的サポート(EAI), また多岐にわたる企業間取引(BtoB)やビジネスプロセスの自動化 (BPM) 等が可能となります。

2)エブリパス・ジャパン株式会社 (本社:東京都港区虎ノ門、代表取締役社長:大谷 俊哉) :
既存のビジネス・アプリケーション、ウェブサイト、データベース上の現行資産などを、アプリケーションの二重開発すること無くワイヤレス PDA, i モード等の携帯電話をはじめ、さまざま携帯端末上で表示させる為、同社の主力製品、「エブリパス・モバイル・アプリケーション・プラットフォーム」を活用しています。

3)株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ (本社:東京都千代田区、代表取締役社長:立川 敬二) :
今回の「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」開発、pilot test 実施にあたり、同社の SI ビジネスパートナーとして、i モード, FOMA 等モバイル・デバイスの提供、及びその他の技術支援を受けています。

4)日本シーベル株式会社 (本社:東京都渋谷区、バイス・プレジデント兼ジェネラル・マネージャー アジア太平洋地域/日本担当マーレー・クレイトン(Murray Creighton)) :
同社の主力製品 Siebel eBusiness Applications を活用し、SFA(Sales Force Automation)、コールセンター、フィールドサービス、ERM(Employee Relationship Management)、PRM:(Partner Relationship Management)など、今後幅広いアプリケーションの拡張を予定しています。

5)日本ヒューレット・パッカード株式会社 (本社:東京都杉並区、代表取締役社長:寺澤 正雄) :
同社の高可用性 UNIX プラットフォームやセキュリティ等のミドルウェアにより構成される「Always-On Internet Infrastructure」において、ミッションクリティカルに対応する「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」の開発で協力してまいります。

6)プーマテックジャパン株式会社 (本社:東京都千代田区、代表取締役社長:荒井 真成) :
同社の主力製品 Intellisync Anywhere を活用し、「アクセンチュア BtoE モバイルポータル」を通して、ロータスノーツ等のグループウェア上の情報をモバイル機器から閲覧、シンクロナイズできるようになります。また今後 Intellisync Anywhere だけではなく、同社の他のモバイル関連技術を利用した機能においても協力してまいります。

7)ロータス株式会社 (本社:東京都品川区、代表取締役社長:安田 誠) :
同社の主力製品であるノーツ/ドミノならびに、ドミノフォンコネク、ドミノモバイルサーバー等の製品を利用することにより、企業向けアプリケーションとして欠かすことのできないグループウェアへのモバイルからのシームレスなアクセスを可能とします。また将来的には販売面でのより強固な協力関係を築いていく予定です。

アクセンチュアでは、日本経済回復の鍵となる、従業員の生産性・満足度向上を実現するツールとしての「アクセンチュア BtoE ポータルソリューション」を提供する傍ら、第三世代携帯等の次世代技術による経営改革ソリューションの提供において、システム構築ビジネスの拡大を図ります。

アクセンチュアではこの「アクセンチュア BtoE ポータルソリューション」を、協力企業と共に、まずは大規模法人企業を中心に、あらゆる業種に提供してゆきます。

「アクセントチュア BtoE ポータルソリューション」概要

名称:「アクセントチュア BtoE ポータルソリューション」

提供:アクセントチュア株式会社

提供開始時期:2001年10月25日

提供内容:コンサルティング及びシステムインテグレーション（導入、構築、運用）

価格:5,000万円から*3〔ハード、ソフト、システム構築、コンサルティング込み〕*3 ユーザ数、導入ソリューションコンポーネント、コンサルティング領域などにより異なります。

ソリューション概要:添付資料をご参照ください。

当サービスに関する読者からのお問い合わせ先:


アクセントチュア株式会社 通信・ハイテク産業グループ

ビジネス・ディベロップメント 中原

03-5771-3409

Ryo.NaKahara@accenture.com

添付資料 1 :



アクセントチュア BtoE ポータルソリューションとは

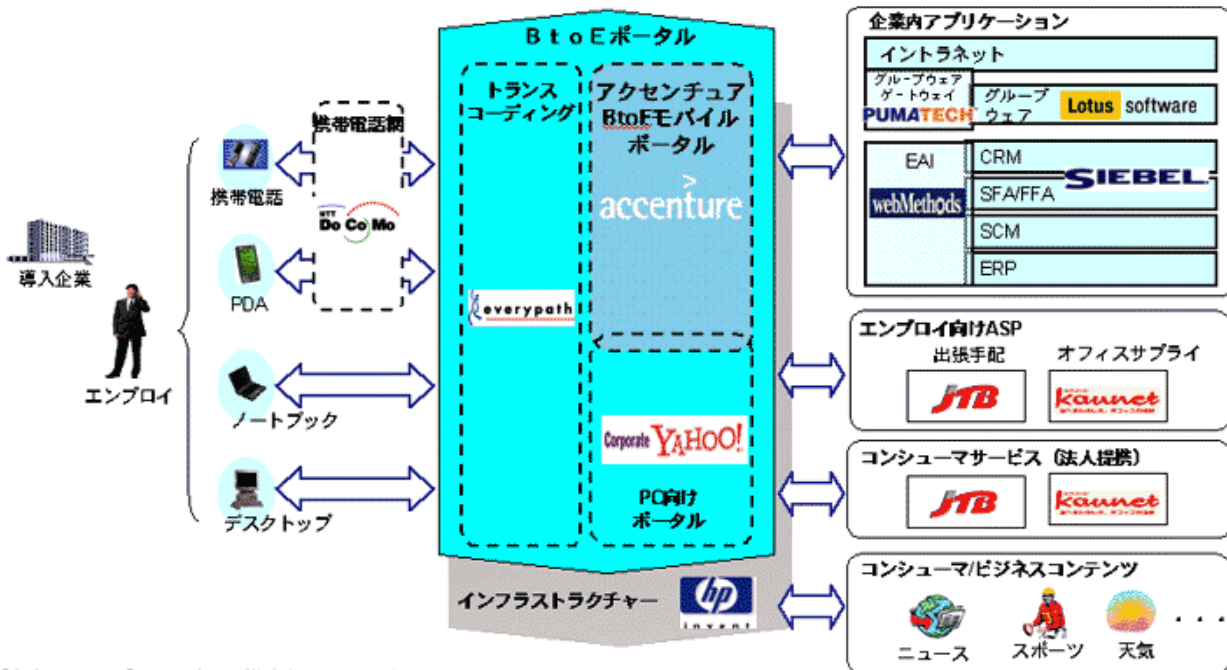
アクセントチュア BtoE ポータルソリューションは、従業員の生産性を最大化すると同時に、
 ①経営改革, ②ワークスタイル改革, ③商流改革をもたらす業務革新ソリューションです。

アクセントチュア BtoE ポータルソリューション全体構成

(C)2001 Accenture Corporation. All rights reserved.

*1: Enterprise Application Integration (基幹システム間の連携)

アクセンチュアは自社開発したBtoEモバイルポータルを核に、各プレイヤーとの連携により、顧客に対してBest-of-Breedのソリューションを提供してゆきます。



アクセンチュアについて

アクセンチュア(NYSE:ACN)は先進的な経営コンサルティングとテクノロジー・ソリューションを提供するグローバル企業です。全世界 46 カ国において約 75,000 名、日本においては約 2,000 名のプロフェッショナルが、あらゆる産業領域において卓越した能力とソリューションを企業顧客に提供しています。アクセンチュアは全世界において統一されたブランドとビジネスモデルによって事業を展開しており、全世界の顧客に一貫したサービスを提供しています。

アクセンチュアは今日の企業の抱えるあらゆる経営課題に対し、コンサルティング、テクノロジー、アウトソーシング、アライアンス、及びベンチャー・キャピタルといった手法により、グローバルな自社ネットワークを活用した解決策を提案しています(2001年7月19日 NYSE 上場、略号: ACN)。

アクセンチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセンチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。